

<入門・テント技術改訂版 正誤表>

26ページ下から2行目

(誤) Shade Sail/Sail Sade/Sky Sail

(正) Shade Sail/Sail Shade/Sky Sail

29ページ下から3行目

(誤) Shade Sail/Sail Sade/Sky Sail

(正) Shade Sail/Sail Shade/Sky Sail

65ページ

(誤) (5) 短計図 (かなばかり図)

(正) (5) 矩計図 (かなばかり図)

72ページ表補助記号の中

(誤) 補助記号 M 機会仕上げの場合

(正) 補助記号 M 機械仕上げの場合

89ページ下から2行目

(誤) 平成12年建設省告示第1455号を巻末に記載する。

(正) 平成12年建設省告示第1445号を参照

109ページ

(2) 鋼材の応力とひずみの関係の欄

5行目 (誤) 標点間距離

(正) 標点間距離

110ページ

応力度の公式は $\sigma = E \times \varepsilon$ です。

下から5行目

(誤) 事項に述べる

(正) 次項に述べる

116ページ 表3. 4-1 梁と曲げモーメントの図

集中荷重 (誤) (単位はたとえば kgf や N)

(正) (単位はたとえば N)

一定分布荷重 (誤) (単位はたとえば kgf/m や N)

(正) (単位はたとえば N/m)

118ページ

図3. 4-3 風の強弱による接地圧の変化

(Ⅲ) (誤) モーメント(M) 小 - 浮き上がり力が発生

(正) モーメント(M) 大 - 浮き上がり力が発生

図3. 4-4の数式

(誤) $\sigma_{c1} =$

(正) $\sigma_{e1} =$

図3. 4-4計算式の d 表記は大文字 D

(誤) $(1 + 6e/d)$

(正) $(1 + 6e/D)$

図3. 4-4の(a)

(誤) $\sigma_{e1} = P/A(1 + 6e/D)$

(正) $\sigma_{e1} = P/A(1 - 6e/D)$

119ページ

表3. 4-2許容地耐圧度と書いてある上の文章

(誤) $f_e = 29.0 \text{tf/m}^2$ 以上となるので

(正) $f_e = 290 \text{KN/m}^2$ 以上となるので

122ページ

図3. 4-9の上の文章

(誤) こうして、図3. 4-2に示した

(正) こうして、図3. 4-8に示した

(誤) 図3. 4-2のトラスモデルは

(正) 図3. 4-7のトラスモデルは

(誤) 部材③のない図3. 4-4に示す

(正) 部材③のない図3. 4-7に示す

129ページ (1) 軒出しテント ② 許容応力

(a) 鋼材 (誤) STK400 ($t \geq 4 \text{mm}$)

(正) STK400 ($t \leq 40 \text{mm}$)

130ページ

(C) 積雪荷重(S)

(誤) $W_s = 20 \times 20 \text{N/m}^2 \cdot \text{cm} = 400 \text{N/m}^2$

(正) $S = 20 \times 20 = 400 \text{N/m}^2$

(d) 設計荷重

(誤) $W_s + G = 400 + 120 = 520 \text{N/m}^2 > \text{風圧力 } P = 1428 \text{N/m}^2$

(正) $S + G = 400 + 120 = 520 \text{N/m}^2 < \text{風圧力 } P = 1428 \text{N/m}^2$